

## 平成31年度札幌市軌道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成31年度札幌市軌道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 車 両 数	34 両
(2) 年間走行キロメートル	910 千キロメートル
(3) 年間輸送人員	8,895 千人
(4) 1日平均輸送人員	24,303 人
(5) 主要な建設改良事業	
ア 低床車両製造	
イ 電力設備増強	
ウ 停留場改良	
エ 車両基地改良	

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収 入	
<b>第1款 軌道事業収益</b>		<b>2,053,000千円</b>
第1項 営業収益		1,526,000千円
第2項 営業外収益		527,000千円
	支 出	
<b>第1款 軌道事業費用</b>		<b>2,235,000千円</b>
第1項 営業費用		2,151,000千円
第2項 営業外費用		64,000千円

第3項特別損失	10,000千円
第4項予備費	10,000千円
<b>収入支出差引不足額</b>	<b>182,000千円</b>

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額163,000千円は、損益勘定留保資金等で補填するものとする。）。

収 入	
<b>第1款資本的収入</b>	<b>1,586,000千円</b>
第1項企業債	315,000千円
第2項他会計補助金	8,000千円
第3項負担金	1,263,000千円
支 出	
<b>第1款資本的支出</b>	<b>1,749,000千円</b>
第1項建設改良費	1,586,000千円
第2項企業債償還金	153,000千円
第3項予備費	10,000千円
<b>収入支出差引不足額</b>	<b>163,000千円</b>

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
除雪車両製造	平成32年度から 平成34年度まで	522,000千円
路面電車活用推進事業	平成32年度から 平成33年度まで	430,000千円
路面電車活用推進事業 その 2	平成32年度	257,000千円
電車設備等 管理・運用	平成32年度	886,000千円
管理運営等業務	平成32年度	24,000千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
軌道事業建設改良費	315,000千円	証券発行又は普通貸借とする。	9.0%以内	起債の日から据置期間を含め40年以内に、元利均等その他の方法により償還する。ただし、財政上の都合等により定額以上を償還し、又は本期間中に未償還額の範囲内において借り換えることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、2,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 (収益的支出) 613,319千円

(他会計からの補助金)

第10条 軌道事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、98,235千円である。

平成31年(2019年)2月8日提出

札幌市長 秋元克広